



整流で野菜・果樹の品質が格段にアップ！ 山形県東根市でEM整流の現場と勉強会

果樹王国山形県で11月下旬、1泊2日の日程で、EMエコライフ天童、村山EMエコクラブ、さんろく会の皆さんが「EM整流勉強会」を開催した。天童市の平塚忠次郎さんの野菜畑と東根市の高橋クニ子さんのさくらんぼ園の現地見学会に県内から熱心な25名が参加した。この見学会には、EM生活の岩瀬尉司氏が講師となりEM整流技術についての勉強会も実施した。夜には最新のEM技術についても語り合い、大変充実した交流会となった。

野菜の育ちに格段の違い

平塚忠次郎さんは、EM歴15年で150坪の家庭菜園での野菜作りを楽しんでいる。整流技術に興味を深め、今年の春には比嘉照夫先生の指導を受け、約40坪のエリアに結界を作り、整流装置を設置した。従来のEMによる野菜作りと整流装置をプラスした後との育ちの違いを説明して頂いた。

野菜はキャベツ、大根、ネギ、玉ネギで、整流後のキャベツには、ほとんど青虫がつかなかったこと。玉ネギは子苗を植えて40日余りで今までの2倍の大きさに育っているとの説明に参加者は皆、感嘆の声を上げていた。しかし、あまりに育ちが良いので玉ネギのトウが出ないかの質問もあり、その結果について、来春に平塚さんよりご報告いただくことになった。

500円玉大のサクランボを収穫

高橋クニ子さんは、EM歴20年。夫婦で1ヘクタールの果樹園でサクランボ、桃、ラ・フランス、りんごを栽培している。7年前から波動技術の活用を広げてきているので、今年の春、比嘉照夫先生からの一声で整流を始めることとなった。(株)EM生活の岩瀬氏の指導のもと、さくらんぼ園10アールほどのエリアに結界を作り整流装置を設置したところ、7月の収穫時には500円玉の大きさ4Lサイズのサクランボに育ち本人もびっくりしたとのこと。長年にわたるEM散布の蓄積に、EM整流装置を重ねることにより、限界突破の品質になったのでは、と説明された。整流による波動がより高まり、新たなエネルギーが加わった素晴らしい実例と受けとめられよう。また、参加者からサクランボの芽がすでに2倍の大きさに育っているため、霜被害の心配もだされ、整流で霜被害が軽減されるかは、次年度の課題として残された。(東北地区理事 五十嵐 諒さんから寄せられました)



写真①野菜畑で整流による育ちの違いの説明を聞く参加者の皆さん



写真②500円玉大の4Lサイズに育ったサクランボ

各地の取り組みをお寄せください！～レポート募集のお知らせ

会員の皆様のEM活動を「善循環の輪」通信の紙面で全国にお伝えします。ぜひ事務局までお寄せください。

NPO 法人 地球環境共生ネットワーク事務局 TEL 03-5427-2348 E-mail info@unet.or.jp